

第2回 大垣市第2次教育振興基本計画（文化振興分野）策定委員会 次 第

と き 令和6年9月27日（金）10:00～

と ころ 大垣市役所6階 教育委員会室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

(1) 大垣市第2次教育振興基本計画（文化振興分野）後期計画（案）について 資料No.1

(2) 指標と目標について 資料No.2

4 閉 会

大垣市第2次教育振興基本計画 (文化振興分野) 後期計画 (案)

第4節 文化振興(改定後)

人々の心のつながりや相互理解、多様性を理解する心豊かな社会を形成するため、文化芸術は重要な役割をもっています。

郷土の先賢・作家を学び、ふるさとに愛着をもつとともに、市民の誰もが質の高い文化芸術を享受できる、歴史と伝統がいきづき文化のかおり高いウェルビーイングなまちづくりをすすめ、子どもから高齢者まで一人ひとりが輝ける心豊かな人づくりをめざします。

また、文化芸術のもつ創造性を活かして都市の活性化に取り組む「文化芸術創造都市」をめざします。

1 基本目標と基本施策

基本目標 1	文化芸術活動を充実し、豊かな創造力を育む人づくりをめざします
--------	--------------------------------

豊かな感性・創造力・表現力を深めるためには、音楽や演劇・美術等の芸術、伝統芸能や生活文化、俳句文化等の歴史・風土に根差した、多彩な文化・芸術資源を活かすことが重要です。

このため、文化芸術に継続して親しむことができる機会の確保、多様化する芸術の市民ニーズをとらえた文化振興施策の充実や、次代を担う子どもが、質の高い文化芸術に親しみ創造的活動に参画できるよう努めます。

また、新たな文化芸術活動へのチャレンジを支援するとともに、体験・修得できる機会の充実に努めます。

基本施策	内 容
(1) 文化芸術等に 触れ・学ぶ機会の 充実	文化芸術団体、(公財)大垣市文化事業団と連携し、質の高い創造性あふれる文化芸術に触れることができる、舞台公演等の開催など文化芸術活動の充実を図ります。 さらに、文化芸術への関心をさらに高めるため、ワークショップや講座等の学びの機会の充実を図るとともに、音楽や美術、俳句等、多様な文化芸術の発表の機会を提供します。

基本施策	内 容
(2) 子どもが文化芸術等に親しみ・体験できる機会の充実	子どもが文化芸術を身近に感じられるよう芸術鑑賞の機会をつくれます。文化芸術団体、（公財）大垣市文化事業団と連携し、子どもが質の高い創造性あふれる文化芸術に親しむことができる、舞台公演等の開催や学校との連携による文化芸術活動の充実を図ります。 さらに、子どもの文化芸術への関心をさらに高めるため、学校アウトリーチ（※）事業、ワークショップや講座等の体験の機会の充実を図るとともに、音楽や美術、俳句等、多様な文化芸術の発表の機会を提供します。

※用語の説明

アウトリーチ：公共機関、公共的文化施設などが行う、地域等へ出張コンサート・イベントのこと。

基本目標 2	文化の相互交流を通して、多様な文化芸術を理解する人づくりをめざします
--------	------------------------------------

多様な文化芸術を尊重し豊かな心を育むためには、地域の伝統文化・生活文化等を理解し、主体的に活動に取り組むことが重要です。

このため、様々な分野の文化芸術等について広く情報発信するとともに、誰もが文化芸術に触れたり体験できるよう、分野や年齢、性別、障がいの有無や国籍等にかかわらず相互交流できる機会の充実に努めます。

また、昨今のグローバル化及びデジタル化の進展を踏まえた上で、異なる文化や価値観を理解するため、文化芸術を通じて多様な文化の学習や交流を支援していきます。

基本施策	内 容
(1) 文化芸術等の交流機会の充実	創造的な活動や新たな活動に取り組めるよう、文化芸術の分野や、年齢、性別、障がいの有無や国籍等にかかわらず相互に交流できる機会の充実に図ります。 また、日本の伝統的な生活文化である茶道、華道、書道等や伝統芸能である邦楽、日本舞踊等を普及・継承する講座を支援するとともに、美術と音楽等の異文化が融合した新たな文化創造の取り組みを広げるため、子どもを対象としたアウトリーチ※を開催します。 さらに、国籍にかかわらず、文化芸術の相互理解を深めるため、アニメーションやデジタルアート等のメディア芸術を利用した文化の交流を支援します。
(2) 広報活動の充実	文化芸術や地域の伝統文化、生活文化等、様々な分野の相互理解を深め、連携につなげるため、各分野・団体の取り組みなどを多様様々な媒体を活用し、広く情報発信します。
(3) デジタル技術を活用した文化芸術活動の充実	文化芸術団体、（公財）大垣市文化事業団と連携し、デジタル技術を活用した文化芸術事業を調査・研究し、新たな文化芸術の取り組みを支援します。

基本目標 3

郷土の文化財や伝統文化の保護・継承を通して、ふるさとに愛着と誇りをもてる人づくりをめざします

ふるさと大垣への愛着と誇りを深めるためには、郷土に残る文化遺産や先人の功績に学びながら、地域の伝統文化を理解し、次代へと伝えていくことが重要です。

このため、郷土の文化財を保護するとともに、環境整備による活用を促進することで、市民の文化財保護の取り組みや継承活動を支援します。

また、**地域コミュニティの活性化を図りながら、大垣祭等地域に残る伝統文化を守り、確実に未来へ伝えられるように努めます。**

基本施策	内 容
(1) 文化財や伝統文化の保護・継承と担い手の育成	文化財を保護するため、文化財の滅失・散逸を防ぎ、地域における計画的な保存に努めるとともに、必要な調査を実施し、その成果を広く市民に公開します。 また、史跡や建造物等を適切に公開・活用するため、計画的な環境整備に取り組み、地域等と連携した積極的な文化財の活用を図ります。 また、各地域の多様な伝統文化を継承するため、必要な記録を残しながら、保存会や保護団体等の担い手の育成と支援を行います。 さらに、市内各地には地域固有の歴史・文化に育まれた文化遺産があることから、各地の歴史文化施設で企画展や講座等を実施し、積極的な活用に取り組みます。
(2) 先賢等の顕彰と後世への継承	大垣を支え、発展に寄与してきた先賢の理解を深めるため、奥の細道むすびの地記念館での企画展や各種講座を充実することで、市民への普及に努めます。 また、先賢からの学びを通じて、ふるさとに愛着と誇りがもてるよう、各種団体における顕彰活動を支援していきます。 さらに、郷土ゆかりの作家についても、計画的な作品の収集に努め、公開・活用を図ります。
(3) 子どもが郷土の伝統文化に親しみ・体験できる機会の充実	子どもがふるさとに愛着と誇りをもてるように、先賢に学び、地域の文化財や大垣祭等の伝統行事、伝統文化に親しむとともに、講座やイベント、ふるさと学習等の、体験できる機会を提供します。 また、子どもが郷土の伝統文化の担い手となるよう、保存会や保護団体による講座等の開催を支援します。

基本目標 4	文化芸術に取り組める環境を整え、いきいきと活動できる人づくりをめざします
--------	--------------------------------------

一人ひとりが輝き、心豊かで健康的な生活を実現するためには、生涯学び、活動できる生きがいをもつことが重要です。

このため、文化芸術団体・企業等が文化芸術活動に積極的に取り組み、楽しく活動できる環境づくりに努めます。

また、各歴史文化活動施設で企画展や講座等を実施し、郷土の文化遺産を積極的に学べる環境づくりに努めます。

さらに、子どもから高齢者まであらゆる世代が、いきいきと活動できる拠点の環境を整えることで、市民の文化芸術の取り組みを支援します。

基本施策	内 容
(1) 文化芸術活動施設の利用環境の充実	施設利用者のニーズが多様化するなか、文化芸術活動の拠点としての環境整備に努め、(公財)大垣市文化事業団と連携し、文化芸術活動施設のより効果的な運用を検討します。 また、市民の誰もが気軽に文化芸術活動施設を利用できるよう、施設・設備の整備・改修や運用の改善等を行います。 さらに、市民の文化芸術活動を支えるため、施設の機能向上、安全確保に努めます。
(2) 歴史文化活動施設の利用環境の充実	施設利用者のニーズが多様化するなか、歴史文化活動の拠点としての環境整備に努め、-(公財)大垣市文化事業団と連携し、歴史文化活動施設のより効果的な運用を検討します。 また、市民の誰もが気軽に歴史文化活動施設を利用できるよう、施設・設備の整備・改修や運用の改善等を行います。 さらに、地域固有の歴史・文化に育まれた文化遺産を活用した企画展や講座等を実施するため、施設の機能向上、安全確保に努めます。

大垣市第2次教育振興基本計画に関する ご意見・ご質問について

(3) 文化振興分野

1 計画の改定に関するご意見・ご質問

No.	意見の概要	市の考え方
1 (P1) (P2) (長谷川委員)	基本目標1 基本施策(1)(2) 最後の一段落「また、次代を担う優れた人材を育成するため、～」が全く同じ文章であることに違和感がある。いずれかの文章を少し変えて、大人と子どもの違いを表現してはどうか。	ご意見を参考に修正します。 (修正内容については、資料No.7、P1、2の朱書き部分参照)
2 (P3) (川合委員)	基本目標2 基本施策(1) アウトリーチの後に、(※)の表記があるが、その説明がない。 (その前の基本目標1 基本施策(2)に、既にアウトリーチ事業がある)	基本目標1 基本施策(2)の欄外に、「用語の説明 アウトリーチ：公共機関、公共的文化施設などが行う、地域等への出張コンサート・イベントのこと。」を追記します。なお、(※)の位置を、基本目標2 基本施策(1)から、基本目標1 基本施策(2)へ変更します。
3 (P3) (長谷川委員)	基本目標2 基本施策(2) 「～生活文化等、様々な分野の相互理解を深め、～分野・団体の取り組みなどを様々な媒体を活用し、～」で「様々な」が続くため、「～生活文化等、様々な分野の相互理解を深め、～分野・団体の取り組みなどを多様な媒体を活用し、～」(下線部を修正)としてはどうか。	ご提案のとおり修正します。
4 (P5) (長谷川委員)	基本目標4 基本施策(1) 「～文化芸術活動の拠点としての環境整備に努め、より効果的な運用を検討します。」をより分かりやすい文章にするため、「～文化芸術活動の拠点としての環境整備に努め、 <u>文化芸術活動施設のより効果的な運用を検討します。</u> 」(下線部を追加)としてはどうか。	ご提案のとおり修正します。

No.	意見の概要	市の考え方
5 (P5)	基本目標4 基本施策(2) 「～歴史文化活動の拠点としての環境整備に努め、(公財)大垣市文化事業団と連携し、より効果的な運用を検討します。」をより分かりやすい文章にするため、「～歴史文化活動の拠点としての環境整備に努め、(公財)大垣市文化事業団と連携し、<u>歴史文化活動施設</u>のより効果的な運用を検討します。」(下線部を追加)としてはどうか。 さらに、同内容の第二段落「市民の誰もが気軽に歴史文化施設を利用できるよう、～」の文言を合わせるため、「市民の誰もが気軽に歴史文化<u>活動</u>施設を利用できるよう、～」(下線部を追加)としてはどうか。	ご提案のとおり修正します。

大垣市第2次教育振興基本計画に関する ご意見・ご質問について

(3) 文化振興分野

2 その他のご意見・ご質問

No.	意見の概要	市の考え方
1 (P4) (井上委員)	基本目標3 基本施策(1)(3) 大垣祭は、国の重要無形民俗文化財であり、ユネスコ無形文化遺産であることを学び、他の構成要素の祭などとの連携した学びがあると広がりがあるのでないか。	大垣祭については、ふるさと大垣科において、小学校3年生で学んでいます。 また、講座や歴史文化施設での展示、大垣祭保存会等と連携した出前講座を実施し、理解を深める取り組みを進めております。 また、大垣祭保存会を中心に他の祭との交流や情報交換を図っており、引き続き、取り組みに生かして参ります。
2 (P4) (井上委員)	基本目標3 基本施策(1) 市の文化財を周知するため、文化財ガイドマップを作成してみてはどうか。 参考：知多市の文化財ガイドマップ https://www.city.chita.lg.jp/docs/2020071000028/	文化財等を周知するツールとして、指定文化財をはじめ、先賢、史跡、景観遺産などを紹介する「大垣遺産」アプリを平成30年に作成し、所有者から了承を得た指定文化財を掲載しております。

大垣市第2次教育振興基本計画（文化振興分野）後期計画（案）

2 指標と目標値（案）

文化振興分野の施策の着実な推進を確認するため、指標と目標値を設定します。

No.	基本目標	指標名	基準値	目標値 (令和11年度)
1	文化芸術活動を充実し、豊かな創造力を育む人づくりをめざします	文化芸術に関する事業数（件）	118件	121件
		子どもを対象とした文化芸術事業の満足度（%）	96.7%	96.7%を維持
2	文化の相互交流を通して、多様な文化芸術を理解する人づくりをめざします	情報発信数（件）	483件	540件
		交流人数（人）	32,346人	32,500人
3	郷土の文化財や伝統文化の保護・継承を通して、ふるさとに愛着と誇りをもてる人づくりをめざします	歴史文化に関する事業数（件）	95件	98件
		子どもを対象とした歴史文化事業の満足度（%）		
4	文化芸術に取り組める環境を整え、いきいきと活動できる人づくりをめざします	文化芸術・歴史文化活動施設入場者数（人）	699,307人	701,000人
		文化芸術活動施設利用者満足度（%）	73.1%	74.0%を維持
		歴史文化活動施設展示内容満足度（%）		

指標と目標 算出根拠（文化振興分野）

基本目標 1	文化芸術活動を充実し、豊かな創造力を育む人づくりをめざします
--------	--------------------------------

1 指標と目標

指標	年度	R5	R7	R8	R9	R10	R11
(1) 文化芸術に関する事業数（件）	目標	基準	119	119	120	120	121
	実績	118					
(2) 子どもを対象とした文化芸術事業満足度（％）	目標	基準	96.7	96.7	96.7	96.7	96.7
	実績	96.7					

2 指標の設定理由

- (1) 豊かな感性・創造力・表現力を深めるには、音楽、演劇・美術等の芸術、伝統芸能や生活文化などの文化芸術に触れ、学ぶ機会などが必要であることから文化芸術に関する事業数を指標とした。
- (2) 単なる参加者数だけでなく、事業の質を評価することの重要性及び子どもたちの感想や反応を直接反映できることから、子どもを対象とした文化芸術事業の満足度を指標とした。

3 目標値の算出根拠

- (1) 目標の事業数は、事業の廃止や新規事業などがあることから、2年で1件増加させることとして算出し、目標は121件とする。
- (2) 前期計画に引き続き、後期計画においても継続的に開催が見込まれる事業の満足度調査結果を基準とし、目標は満足度96.7%を維持する。

年 度	R2	R3	R4	R5
子どもを対象とした文化芸術授業満足度調査（％）	-	100.0	96.9	96.7

基本目標 2	文化の相互交流を通して、多様な文化芸術を理解する人づくりをめざします
---------------	---

1 指標と目標

指標	年度	R5	R7	R8	R9	R10	R11
(1) 情報発信数（件）	目標	基準	500	510	520	530	540
	実績	483					
(2) 交流事業参加者数（人）	目標	基準	32,500	32,500	32,500	32,500	32,500
	実績	32,346					

2 指標の設定理由

(1) 多様な文化芸術を理解するには、様々な分野の相互理解を深め、連携につなげる必要があるため、文化芸術活動に関する情報発信数を指標とした。

(2) 多様な文化が交流しあうことは、異なる文化と接することで自らの文化を再認識することとなり、新たな文化の創造へと発展していく契機となる。

そのため、多様な文化の交流である「大垣市芸術祭」、「文化フェスティバル」及び「文化連盟祭」の参加者数並びに参加者の様々な俳句に関する感じ方の交流である「おおがき芭蕉交流句会」の参加者数を指標とした。

3 目標値の算出根拠

(1) 令和5年度のSNS等の情報発信数は483件。

目標の情報発信数は、10件/年の増加とし、最終年度を540件とする。

年 度	R2	R3	R4	R5
情報発信数（件）	150	247	470	483

(2) 大垣市芸術祭、文化フェスティバル、文化連盟祭及びおおがき芭蕉交流句会の参加者の合計を交流事業参加者数とする。

団体数の減少や少子化などにより交流人数の減少があると考えられるが、目標は微増の32,500人を目標とする。

事業名	R2	R3	R4	R5
大垣市芸術祭	－	334	5, 223	28, 045
文化フェスティバル	－	1, 986	3, 454	3, 952
文化連盟祭	－	200	500	300
おおがき芭蕉交流句会	63	53	65	49
計	63	2, 573	9, 242	32, 346

※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、大垣市芸術祭、文化フェスティバル、文化連盟祭は開催中止。

基本目標 3	郷土の文化財や伝統文化の保護・継承を通して、ふるさとに愛着と誇りをもてる人づくりをめざします
---------------	---

1 指標と目標

指標	年度	R5	R7	R8	R9	R10	R11
(1) 歴史文化に関する事業数（件）	目標	基準	96	96	97	97	98
	実績	95					

指標	年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11
(2) 子どもを対象とした歴史文化事業満足度（％）	目標	基準					
	実績						

2 指標の設定理由

- (1) 文化財や伝統文化を守り、確実に未来へ伝えていくためには、市民が地域の伝統文化を理解し、文化財の保護に取り組んでいくことが重要である。

そのためには、市内各地にある歴史文化施設で開催する、郷土の文化財や伝統文化について学べる企画展や講座等を充実し市民に普及していくことや、保護に取り組む団体への支援が必要であることから、歴史文化に関する事業数を指標とした。

- (2) 伝統文化を守り、確実に未来へ伝えていくためには、子どもが地域の伝統文化を理解し、ふるさと大垣への愛着と誇りを深めていくことが重要である。

そのためには、子どもが伝統文化に親しみ・体験できる機会を充実していくことが必要であり、事業に参加した子どもの感想や反応を反映できることから、子どもを対象とした歴史文化事業の満足度を指標とした。

3 目標値の算出根拠

- (1) 目標の事業数は、事業の廃止や新規事業などがあることから、2年で1件増加させることとして算出し、目標は98件とする。

(2) 令和6年度事業の満足度調査結果を基準とし、目標は満足度●●.●%を維持する。

<対象事業>

- ① 凧作り教室【郷土館】
- ② 勾玉づくり（全2回）【歴史民俗資料館】
- ③ 輪中博士になろうー大垣輪中めぐりー【輪中館】
- ④ 化石館科学教室（全5回）【金生山化石館】
- ⑤ ひょうたんランプづくりワークショップ【墨俣一夜城（大垣市墨俣歴史資料館）】

令和6年度

（単位：人、％）

事業	①	②	③	④	⑤	合計	割合
参加者数（子ども）		22	5	15		42	
満足		19	5	14		38	90.5

※ ④化石館科学教室は、全5回のうち3回分の集計結果。

基本目標 4	文化芸術に取り組める環境を整え、いきいきと活動できる人づくりをめざします
---------------	---

1 指標と目標

指標	年度	R5	R7	R8	R9	R10	R11
(1) 文化芸術・歴史文化活動施設入場者数(人)	目標	基準	699,800	700,100	700,400	700,700	701,000
	実績	699,307					

指標	年度	R5	R7	R8	R9	R10	R11
(2) 文化芸術活動施設利用者(貸館)満足度(%)	目標	基準	74.0	74.0	74.0	74.0	74.0
	実績	73.1					

指標	年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11
(3) 歴史文化活動施設展示内容満足度(%)	目標	基準					
	実績						

2 指標の設定理由

- (1) 心豊かで健康的な生活の実現には、生涯学び、活動できる生きがいをもつことが重要であり、子どもから高齢者まであらゆる世代が、文化芸術・歴史文化活動に積極的に取り組み、楽しく活動できる環境づくりに努めることから、文化芸術・歴史文化活動施設入場者数を指標とした。
- (2) 子どもから高齢者まであらゆる世代が、文化芸術活動に積極的に取り組み、楽しく活動できるよう、施設利用者のニーズや要望を把握し、今後の施策に反映させるため、文化芸術活動施設利用者(貸館)満足度を指標とした。
- (3) 郷土の文化遺産を積極的に学べるよう歴史文化活動施設の展示内容へのニーズや要望を把握するため、歴史文化活動施設展示満足度を指標とした。

3 目標値の算出根拠

- (1) 令和5年度の市民会館を除く文化芸術活動施設入場者数は、551,332人

人口補正：R11推計人口(153,996人) / R6推計人口(157,306人) $\div 0.98$

今後の人口減のみから算出すると令和11年度の文化芸術活動施設入場者数は540,305人、歴史文化活動施設入場者数は145,015人となるが、目標は微増701,000人とする。

年 度	R2	R3	R4	R5
文化芸術・歴史文化活動施設入場者数（人） ※市民会館除く	263,921	337,766	625,882	699,307

- (2) 令和5年度事業の文化芸術活動施設利用者（貸館）満足度調査結果を基準として、目標の満足度74.0%を維持する。

年 度	R2	R3	R4	R5
文化芸術活動施設利用者（貸館）満足度（%）	69.5	67.9	73.9	73.1

- (3) 令和6年度事業の展示内容満足度調査結果を基準として、目標の満足度●●.●%を維持する。

<参 考> 令和5年度（令和6年1月～3月）

（単位：人、%）

館 名	大垣城	郷土館	歴史民俗資料館	輪中館	金生山化石館	上石津郷土資料館	墨俣一夜城	記念館	合計	割合
回答者数	938	35	0	9	5	0	37	244	1,268	
満足	679	30	0	9	5	0	30	165	918	72.3